◆一般投稿作品◆　岡崎桜雲　選

身に入むや父の遺せし短歌集　大場比奈子
開けごま呪文のあらば春平和　岡本　初美
さねかずら格子戸抱きとうせんぼ　秋　星
ご無沙汰でごめんなさいと初詣　吉川　恵
蕗のとう霜の中より世を覗く　東　月
一面の鏡となりぬ水張り田　中村　紫乃
老いて尚昨日の今日の花疲れ　山﨑　雅也
春一番屋久の塩風土佐の風　前田　裕子
門松に零れんばかり千両を　畠山　千江
梅の香や野良に休める老二人　原　茂
学童の挨拶清し水温む　山﨑　貴子
人の気を集めて咲ける寒桜　五百蔵利美
バレンタインチョコ味見して買ひめぐる　秋山　英身
山白く大寒の日のあたたかし　楮佐古きよ
柚子風呂に我が身横たえなぐさめる　溝渕　龍泉
四辻の闇に小声の鬼は外　大谷　弘子

◆美良布俳句会◆

バレンタイン爺に届くは御饅頭　岡本かほる
日ごと茎伸びて水耕アマリリス　明石ゆきゑ
ちゃんちゃんこ捨田の数を指に折り　北村　幸子
二月尽ダム湖に映る雑木林　北村　里子
日永さや心の整理写真選る　小野川順子
悴かむ手襁褓干したる嫁しき頃　前田　芳子
住む人も無く咲き侘ぶる黄水仙　中内ゆかり
山からの時雨の至る日の御子堂　高田　米子
底無しの青天井や春は来し　甲藤　卓雄

◆かがみ野俳句会◆

草稿の消しては足して水温む　古川　信子
余寒なほ気遣ひあいし長電話　利根　弘子
スマホでの恋文届くチューリップ　山﨑　鈴子
如月や琴の音沁むる富枝の忌　坂元　道子
寒禽の鼓動包むやたなごころ　佐竹　洋子

◆かほく俳句会◆

訪ね来て兼山墓域梅ひらく　乾　真紀子
豆撒もせずに今年も鬼と住む　池内世理子
草餅の草の残り香母思ふ　黒岩千英子
猪垣を高く巡らせ春田打つ　久保内鏡子
用水の音も高まり春田風　小松　昇
寒鰤の刺身に土佐のぬたを添へ　杉山　春萌
中空に白き古木の梅の花　野村　里史
五在所山に雪や韮生の田を肥やす　津田吾燈人
梅咲きぬ陽を豊かにし梅ノ久保　前田　欣一
足を止め息を止めしてメジロ撮る　前田　智
髪染めて春待つ顔となりにけり　間崎　和代
老らくの恋が呆れる猫の恋　宮崎ただし
白鷺の一羽夕日の春田かな　宗石　愛喜
芽柳に風の軽ろさを見てをりぬ　森本　之子
菜の花の輝く畑や空の青　山中　節子
出迎へは一壺の青と梅の白　山崎かずみ

◆土佐山田町俳句会◆

この辺にありし岩菲の無かりけり　明石　韮生
手水舎に光の春の水の音　笹岡　英世
土筆摘み里は夕餉の準備かな　西内　道彦
花水木回想録は棚の隅　安丸　槇子
風ひかり十四才と擦れ違う　前田美智子
春一番遺骨なき墓兄のこゑ　大畠　新草
廃れ棚田へ冬咲くげんげを見に帰る　樫谷　雅道

今月のキラリ　広報委員会

身に入むや父の遺せし短歌集

『身に入む』は秋の季語で、深まりゆく秋のしみじみとした情景を言う。掲句は在りし日の父が書き綴ってきた仕事や家族のこと、それに添えて多くの短歌を書き残していた。歌を詠む。それもまた父にとっては至福のひとときであったのであろう。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）FAX53・5958

第17回吉井勇顕彰短歌大会

吉井勇の功績を顕彰する短歌大会に、全国各地から、一般83名・163首、学生472名・472首の投稿がありました。今年は残念ながら、新型コロナウイルスの影響で表彰式と講演会が開催することができませんでした。ここに入賞した方々の作品とお名前を掲載します。

【受賞作品　一般の部】

吉井勇大賞　母に習いしうる目鰯の寿しにぎる指先ほんのり匂う柚の酢　高知市　浜田和香子
吉井勇賞　畑の土乾かぬうちにいただきし大根洗えば冬の匂す　高知市　岡村　俊子
玉井清弘賞　竜の背に乗りて飛びたつ様に似て空想ふくらむ「嘉」の古代文字　香美市　秋　星
井上佳香賞　徘徊の母をゆっくり尾行する会う人ごとに目配せしつつ　山口県光市　松本　進
佳作　しんしんと更けゆく夜の祖谷渓に猪鍋を煮る風の鳴る音　東京都世田谷区　野上　卓
京みやげキーホルダーのメダルから吉井勇の名前覚えぬ　兵庫県宝塚市　小竹　哲
初成りの柚の熟れ実のかがやきを夕日の枝から四個貰ひぬ　山口県宇部市　藤井　重行

【受賞作品　中高生の部】

吉井勇大賞　スカートのギャザーを寄せて見えるものフワフワドレスに舞い上がれ自分　香川県立石田高校三年　紙谷みなみ
吉井勇賞　炎天下手順通りに据え付ける狂い無き目で読み込む水準器　香川県立石田高校一年　長田　直弥
玉井清弘賞　実習の時の先生顔変わる本気伝わりオレも真面目に　香川県立石田高校二年　山﨑孝太朗
井上佳香賞　未来なんて誰も分からん踏んでいる地面がかたいそれだけで良い　名古屋市立供米田中学校三年　渡辺　美愛
佳作　実習で牛舎夏日に照らされて床打つ水に映る虹見る　香川県立石田高校二年　岡田　充騎
一年生豚の追い込み苦戦する昔の自分重なる光景　香川県立石田高校三年　六車　天昂
キンキンの冷たい水で大掃除今年の思い出振り返りながら　長崎市立淵中学校一年　野口　心春

【受賞作品　小学生の部】

吉井勇大賞　「めーん」と一本入ったそうかいかんまたほしいけど一本とられる　山田小学校五年　森本　椋太
吉井勇賞　べにざけはじゅんびができたらあかくなる色あざやかに川をいろどる　大宮小学校五年　北田　妃花
玉井清弘賞　空気がね寒くなって話し出す冬がくるよといってるんだね　大栃小学校三年　高橋　葉
井上佳香賞　大栃橋少しずつ形ができてきた学校からでも見える大きさ　大栃小学校六年　山下こはる
佳作　JFEスチール工事場ちょう熱いのびてのびてのびていく鉄　大栃小学校五年　几内琥大郎
コート上落ちたボールがくやしくて「クソッ」とさけぶ自分がきらい　山田小学校三年　樫谷心乃華
夏の夜蛍見つけてかき集め手のひらいっぱい蛍の光　大宮小学校六年　小松　由奈